

ウィーン公演記念演奏会

HBCジュニアオーケストラ 2018 サマーコンサート

管弦楽：HBCジュニアオーケストラ

指揮：阿部 博光

ヴァイオリン：西本 幸弘

オルガン：吉村 怜子



HBC JUNIOR ORCHESTRA

8/11〈土・祝〉

開場 14:30 / 開演 15:00

札幌コンサートホールKitara 大ホール

入場料 ¥1,500 [全席自由/税込]
未就学児入場可 (有料)

- チケット取扱
- Kitaraチケットセンター tel.011-520-1234
 - 大丸プレイガイド(南14西3) tel.011-221-3900
 - 道新プレイガイド tel.011-241-3871
 - チケットぴあ Pコード: 119-157
 - ローソンチケット Lコード: 12212

～ プログラム ～

シベリウス：交響詩「フィンランディア」作品26

J.Sibelius: Tone Poem for Orchestra "Finlandia" Op.26

クライスラー：「愛の喜び」「愛の悲しみ」「美しきロスマリン」

F.Kreisler: Liebesfreud - Liebesleid - Schön Rosmarin

サラサーテ：カルメン幻想曲 作品25

P.Sarasate: Carmen Fantasy Op.25

ハチャトゥリアン：バレエ組曲「ガイヌ」より

剣の舞/子守歌/バラの乙女たちの踊り/レスギンカ

A.I.Hhachaturian: Suite from the Ballet "Gayaneh"

Sabre Dance - Lullaby - Dance of the Rose Maidens - Lezginka

サン=サーンス：交響曲第3番 ハ短調 作品78「オルガン付き」

C.Saint-Saëns: Symphony No.3 in C minor Op.78 "Organ"

主催 ● HBCジュニアオーケストラ 後援 ● 北海道、北海道教育委員会、札幌市、札幌市教育委員会

お問い合わせ HBCジュニアオーケストラ事務局 TEL 011-232-5842

HBC JUNIOR ORCHESTRA

HBCジュニアオーケストラは、1964年11月、北海道放送が地域文化への貢献と青少年の音楽による情操教育の涵養を目的に創設しました。現在は小学4年から高校3年までの約100人が在籍していて、常任指揮者の阿部博光氏の指導のもと、毎週日曜日にHBCのテレビスタジオで練習しています。毎年8月に定期演奏会である「サマーコンサート」を開催しているほか、多くの札幌市民にオーケストラ演奏を楽しんでもらおうと、札幌市内の区民センターで年間数回、映画音楽やよく知られている楽曲を演奏しています。また、これまで道内30以上の市町村でもコンサートを行っていて、おとし7月にはオホーツクの大空町と美幌町を訪問しました。海外公演では、札幌市と姉妹提携都市のアムステルダム、ロンドン、ロシア・ノボシビルスク、ドイツ・ミュンヘンのほか、オーストリア・ウィーンとチェコ・リトミシュルを訪れています。ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の本拠地で、ニューイヤーコンサートが開かれるウィーン楽友協会大ホールでは、2001年、2007年、2012年、そして今年3月の4回、演奏を披露し、多くの称賛の声をいただいています。これまでのコンサート活動や優れた演奏家を輩出している歴史が高く評価され、「北海道文化賞」や「札幌市民芸術祭奨励賞」、「地域文化功労者表彰」（文化庁）などを受賞しています。



HBCテレビスタジオでの練習



常任指揮者
阿部 博光

東京藝術大学卒業。第45回日本音楽コンクールフルート部門入選。在学中に日本フィルハーモニー交響楽団に入団首席フルート奏者を務める。1982年、文化庁芸術家在外研修員として、スイスのバーゼル市に留学。1995年、17年間在籍した日本フィルを退団し、北海道教育大学岩見沢校助教授に就任。1997年、HBCジュニアオーケストラ常任指揮者に就任。2003年より「奥井理ギャラリーコンサート」をプロデュース。2004年より「阿部博光リサイタルシリーズ」を札幌コンサートホールKitaraにて開催。これまでに札幌市民芸術祭大賞、札幌文化奨励賞、北海道文化団体協議会賞を受賞。現在、北海道教育大学岩見沢校教授、札幌大谷大学非常勤講師、日本フルート協会常任理事、札幌フルート協会副会長、アジアフルート連盟理事、札幌音楽家協議会会長を務め、後進の指導にあたりながら、室内楽を中心に幅広い活動を行っている。

GUEST



ヴァイオリン
西本 幸弘

札幌市出身。6歳よりヴァイオリンをはじめ、HBCジュニアオーケストラに卒団までの8年間在籍。東京藝術大学音楽学部器楽科卒業。その後、英国王立北音楽院で首席栄誉付ディプロマ取得。同音楽院より多くの褒賞を受賞。イギリス・オーストラリア両国国営放送などにも出演。帰国後は、活動のテーマとして《VIOLINable》を掲げ、各種施設での訪問ボランティア演奏など、アウトリーチ活動に積極的に取り組んでいる。2014年よりゆかりの都市でのリサイタルツアーシリーズを始める。同シリーズのライブCD「VIOLINable discovery vol.1」～「同vol.3」をフォンテックよりリリース。現在、仙台フィルハーモニー管弦楽団、九州交響楽団の両楽団でコンサートマスターを務めている。ヴァイオリンを今までに上木節子、山崎量子、北本和彦、大谷康子、田中千香土、澤和樹、ヤール・クレス、各氏に師事。



オルガン
吉村 怜子

札幌コンサートホールKitaraのオルガンスクールにて、3年間オルガンの初歩を学ぶ。東京藝術大学音楽学部器楽科（オルガン専攻）卒業、同大学院音楽研究科修士課程修了。その後、フランスのリヨン国立高等音楽院オルガン科卒業。同音楽院修士課程修了。帰国後は札幌を拠点にソロやアンサンブルなど、様々な演奏活動を行っている。オルガンを大野敦子、小林英之、深井李々子、廣野嗣雄、早島万紀子、廣江理枝、フランソワ・エスピナス、リスベス・シュルンベルジェ、チェンバロを小島芳子、大塚直哉、通奏低音を今井奈緒子、イヴ・レヒシュタイナーの各氏に師事。日本オルガニスト協会会員、日本オルガン研究会会員。



楽友協会「黄金のホール」

ウィーン演奏旅行で輝いたジュニオケ

2018年3月24日（土）～30日（金）

今年3月、ジュニオケは6回目となる海外公演を実施しました。訪問したのは音楽の都・ウィーン。最初の公演会場はウィーン・フィルのニューイヤーコンサートで有名な楽友協会の「黄金のホール」です。その名の通り、煌びやかな空間にジュニオケの音が響き渡り、満員の客席から割れんばかりの拍手をいただきました。演奏に感動したという地元の文化団体からチョコレートのプレゼントも届けられました。



満員となった楽友協会の客席

2回目の演奏は、ウィーン少年合唱団の専用ホール「MuTh（ムート）」で行いました。ここではウィーン・フィルのフルート奏者、グンター・フェダーゼル氏と共演しました。モーツァルトの「フルート協奏曲」を披露し、フェダーゼル氏からも称賛の声をいただきました。



楽友協会前で記念撮影

今回の演奏旅行で貴重な、そして感謝の体験をした団員たちは帰国後、「ウィーンの感動を再び」を合言葉に合宿なども行い、8月11日のサマーコンサートに向け練習に励んでいます。ウィーンの人たちを唸らせた演奏以上の音をKitara大ホールに響かせたいと思っています。今年の「サマコン」にご期待ください。そして、多くの方々に来ていただければ幸いです。



グンター・フェダーゼル氏と共演

オーケストラで青春ひまひま！ 秋の入団オーディション

- ★ 日時/9月2日（日）正午すぎから予定
- ★ 場所/HBC北海道放送内
- ★ 曲目/任意の自由曲（伴奏なしで演奏）
- ★ 応募対象/道内在住の小学4年から高校2年で、以下の応募資格を満たしている人
- ★ 応募資格/●HBCで毎週日曜日に行っている練習（午前9時～正午）に熱意をもって参加できること
- オーディションを受ける楽器を持っていて、演奏ができること
- ※貸し出し可能な楽器もありますので、事務局までお問い合わせください。

HBCジュニアオーケストラ事務局 TEL 011-232-5842

団員
募集!

